

株式会社 山西 あすなる会相談役
代表取締役会長 西 垣 洋 一

「孫の二乗の成功法則」とは！？

孫正義氏が掲げた「孫の二乗の法則」とは、孫正義氏が20代中盤の頃に自ら開発した経営指針で、世界的に有名な兵法書「孫子」からピックアップした言葉に、孫正義氏が独自に考え出した「オリジナルの言葉」を組み合わせたものとして広く知られています。この二十五文字は5行に分かれ、それぞれが「理念」「ビジョン」「戦略」「リーダーの心得」「戦術」を表しています。「孫の二乗の法則」は、もともと「孫子の兵法」をベースに生まれたものであり、「孫子」といえば、マイクロソフトのビルゲイツや上場企業の3割の経営者が傾倒していると言われている2500年前の兵法書です（右図 参照）。

これから人生の荒波に向けて乗り出そうとする経営者はもとより、何かの壁にぶつかったとき、物事がどうもうまくいかないとき、これを見返せば、「今の自分に足りないものはこれだったのか！」といったように、大事なことに気づかされることも多い書籍の一つだと私は思います。

理念 = 道天地将法（どうてんちしょうほう）… 重要な土台となる「理念」や「基礎」
ビジョン = 頂情略七闘（ちょうじょうりやくしちとう）… ビジョンとそれを叶える戦い方
戦略 = 一流攻守群（いちりゅうごうしゅぐん）… 戦うための重要な戦略
将の心得 = 智信仁勇厳（ちしんじんゆうげん）… リーダーとして持つべき重要な素養
戦術 = 風林火山海（ふうりんかざんかい）… 戦いを展開するやり方、戦術

この書籍を読んでいくと、『孫子』と正義氏の思想には、ある種の共通点が見受けられます。志を共にする優れた人材をいかに集めるかといった「将」の存在を重要視している点が、極めて類似しています。正義氏は「将」について以下のように語っています

「どんな戦いをやるにおいても、優れた将を得なければ大きな成功はできない。（中略）皆さんを支える優れた将を最低でも十人、皆さんのために、場合によっては腕の一本、足の一本をいらんと、場合によっては命さえもいらないというぐらいの志を共有する、そういう将を皆さんがどれだけ部下に持てるかと。これが皆さんが大将の器として、山を引っ張れるかどうかというようなことになる」

実際、正義氏はビジネスの節目、小さなベンチャーから台頭する過程で、出会ったビジネスマンの中で特に優秀な人を見つけ抜擢、勝負の最前線で重要な役割を担わせてきました。現SBIホールディングス代表取締役社長である北尾吉孝氏も、野村証券在籍時にソフトバンクの株式公開を担当したことで、正義氏と知り合い、ヘッドハントされた一人です。単に優れた人材に仕事を任せるだけではなく、抜擢した人材が全力を発揮できるように、常に舞台管理をおこない「将」を挑戦の矢面に正しく立たせる配慮をしており、「将」の存在がいかに大事かを実践しています。

経営者にとって一番大切なのは高い「志」です。只、各々が抱いている「志」や夢は千差万別であり、優劣はつけられません。先人の教えの一つに「桜梅桃李の原理」という言葉がありますが、一見同じような木に見えながら、それぞれが皆違っている、だから他人を嫉妬したり、恨んだりすることは何の意味もなく、無駄なことだという教えです。この教えに従って悔いのない人生を送っていくためにも人生や仕事で大事な判断や決断を求められている時、あるいは、何かの壁にぶつかって上手くいかないとき、一息おいて冷静になり、この書籍の「二十五文字」を一字一字チェックしてみることで、現状突破の鍵になりうるかもしれません。

～「孫の二乗の法則」はこうして生まれた～

ランチェスターの法則

英国の航空技師だったF.W.ランチェスターが過去の戦闘結果を分析して導き出した、戦争に勝つための科学的法則

+

孫子の兵法

中国春秋時代に呉王・闔閭に仕えた思想家・孫武の作とされる兵法書。古今東西の兵法書のうち最も著名なものの一つ

+

孫正義の経営実践&哲学

||

孫の二乗の法則

～「孫の二乗の法則」それぞれの意味～

孫正義のオリジナル

『孫子』始計篇より

『孫子』軍争篇より

道	天	地	将	法
志を立てる	天の時を得る	地の利を得る	優れた部下を集める	継続して勝つ仕組み
頂	情	略	七	闘
ビジョンを鮮明に思い描く	情報を可能な限り集める	戦略を死ぬほど考え抜く	7割の勝算を見極める	自ら闘って事を成せ
一	流	攻	守	群
一番に徹底的にこだわる	時代の流れを見極める。	あらゆる攻撃力を鍛える	あらゆるリスクに備える	単独ではなく集団で闘う
智	信	仁	勇	厳
あらゆる知的能力を磨く	信頼に値する人物になる	人々の幸せのために働く	闘う勇氣と退く勇氣を持つ	時として部下に対し鬼になる
風	林	火	山	海
動くときは風のように素早く	重要な交渉は極秘に	攻撃は火のように激しく	ピンチでも決して動かない	勝った相手を包み込む

【 理 念 】				
道 <u>志を立てる</u> 何か事を成すうえで最も重要なこと。経営理念。 「百の知識よりも、一の信念」	天 <u>天の時を得る</u> 発揮する時を得なければ、せっかくの才能も無駄になる。 「タイミング、時代を読む」	地 <u>地の利を得る</u> 拠点の場所によって入ってくる情報や得られる人脈は大きく変わる。 「大黒柱に車をつけよ」	将 <u>優れた部下を集める</u> いかに優秀な人でも一人では何もできない。優れた部下が必要。 「志を共有する協力者が必要」	法 <u>継続して勝つ仕組み</u> 成功のためには勝つためのシステム仕組み、ルールづくりが不可欠。 「まぐれ勝ちは続かない」
【 ビ ジ ョ ン 】				
頂 <u>ビジョンを鮮明に思い描く</u> 必達目標と明確な最終目標を決めそのときのイメージを思い描く 「絶対実現するという覚悟」	情 <u>情報を可能な限り集める</u> ビジョンに確信を得るため、徹底的に情報収集を行う 「大局を見据える」	略 <u>戦略を死ぬほど考え抜く</u> ビジョンを実現させるために情報を分析する。 「戦略なき戦術(実践)」	七 <u>7割の勝算を見極める</u> 絶対に勝てる戦いはない。七割の勝算で勝負に出る。 「勝率を見極め、時機を見定める」	闘 <u>自ら闘って事を成せ</u> いくら高慢な理論を持とうが、闘うことで初めて事を成す 「行動が伴わない知恵は無意味」
【 戦 略 】				
一 <u>一番に徹底的にこだわる</u> 絶対一番になると決めたら、とことんやり抜く。勝ちにこだわる。 「勝ち癖をつける」	流 <u>時代の流れを見極める。</u> 時代の流れを先取りし、行く末を見通し、いち早く仕掛ける 「時代の流れには逆らわない」	攻 <u>あらゆる攻撃力を鍛える</u> 営業力、洞察力などあらゆる攻撃力を身に付けなければならない。 「誰にも負けない攻撃力を持つ」	守 <u>あらゆるリスクに備える</u> さまざまなリスクへの対応力をつけなければならない。 「キャッシュフローの確保」	群 <u>単独ではなく集団で闘う</u> どれかがダメになってもほかがカバーできる体制をつくる。 「群戦略でリスクを分散」
【 将 の 心 得 】				
智 <u>あらゆる知的能力を磨く</u> あらゆる知的能力を高いレベルでバランスよく磨く。 「知恵を働かせる」	信 <u>信頼に値する人物になる</u> 社会は、人間同士の信頼関係がなければ成り立たない。 「強い信念を持つ」	仁 <u>人々の幸せのために働く</u> 社会貢献のために働くのであって、私利私欲、己の野望のためではない。 「慈しみの心を持つ」	勇 <u>闘う勇氣と退く勇氣を持つ</u> 闘う勇氣だけでなく、時には退く勇氣も必要である。 「退却するには十倍の勇氣がいる」	厳 <u>時として部下に対し鬼になる</u> リーダーは、時として強烈な鬼にならなくては秩序は守れない。 「信賞必罰」
【 戦 術 】				
風 <u>動くときは風のように素早く</u> 「時はカネなり」。スピーディーな行動はきわめて重要である。 「貴重な時間は無駄にしない」	林 <u>重要な交渉は極秘に</u> 重要な交渉を進めるときは、静かに極秘にすすめてはならない 「次の攻撃の為に、じつくと準備を」	火 <u>攻撃は火のように激しく</u> 攻めるときは、間髪を入れず、一気呵成に攻め込まなければならない 「侵略すること火の如し」	山 <u>ピンチでも決して動じない</u> どんなピンチに陥っても、「志」「軸」だけは絶対にブレてはいけない。 「冷静に問題を対処」	海 <u>勝った相手を包み込む</u> 勝者が全てを呑み込んで市場を平定して初めて戦いが終わる。 「新たな戦いを生ませない」

道天地将法 < 理念 >

道・・・理念、志。一つの事業を遂行する力を与えるのは信念であり、知識ではない。

天・・・どんな才能があっても、発揮する「時」を得なければ無駄になる。タイミングが大切。

地・・・強みである。自らの立つ地の利。自らが守るに易く、他が攻めるに険しい地が良い。

将・・・人である。リーダーの資質・能力。兵の士気も将次第。

法・・・規律である。法が守られなければ組織として成り立たない。成果などあげられない。

頂情略七闘 < ビジョン >

頂・・・ビジョン。必達目標と明確な最終期限を決め、その時のイメージを徹底的に思い描く。

情・・・情報。ビジョンが本当に正しいのか、裏付けるものを徹底的に情報収集する。

略・・・ビジョンを実現させるための「戦略」。あらゆる選択肢の中から分析して絞り込む。

七・・・「七割の勝算」を確信できたときに、勝負に出る。三割以上のリスクは冒さない。

闘・・・いざ、勝負に打って出たなら、トップ自らが命を懸けて徹底的に闘い抜く。

一流攻守群 < 戦略 >

一・・・「二番は敗北だと思え」。一番になれないことには最初から手を出さない。一番にこだわる。

流・・・時代の流れに乗る。時代の流れを先取りし、行く末を見通し、いち早く仕掛ける。

攻・・・営業力、交渉を成功に導く説得力、次を見通す洞察力などあらゆる攻撃力を身につける。

守・・・様々なリスクへの対応力を身につける。特に財務、キャッシュフローの確保に努める。

群・・・個に頼らない。1つの商品、1人の人、1つの事業分野に頼らない。

智信仁勇厳 < 将の心得 >

智・・・単なる知識や技術だけでない。先見力・洞察力など深く物事の本質を見抜く力を養う。

信・・・信頼・約束など部下から信頼される力、リーダーとしての人間的側面を磨く。

仁・・・仁徳・思いやり。私利私欲は避け、社会の人々の幸せを願って働く。

勇・・・勇氣・決断力・実行力。信念を貫く勇氣と時には「退却の勇氣」を持つ。

厳・・・時として強烈な鬼にならなくては秩序は守れない。「厳しくするときは厳しくする。」

風林火山海 < 戦術 >

風・・・「その疾きこと風の如く」。時は金なり。スピーディーな行動はきわめて重要である。

林・・・「その静かなること林の如く」。重要な交渉を進めるときは、林のように極秘に進める。

火・・・「その侵略すること火の如く」。攻めるときは、間髪入れず、一気呵成に攻め込む。

山・・・「その動かざること山の如く」。ピンチに陥っても決して揺るがない「理念」や「志」。

海・・・戦いに勝利したら、広く深い、静かな海のように相手を包み込む。